

政策3 交通環境の充実

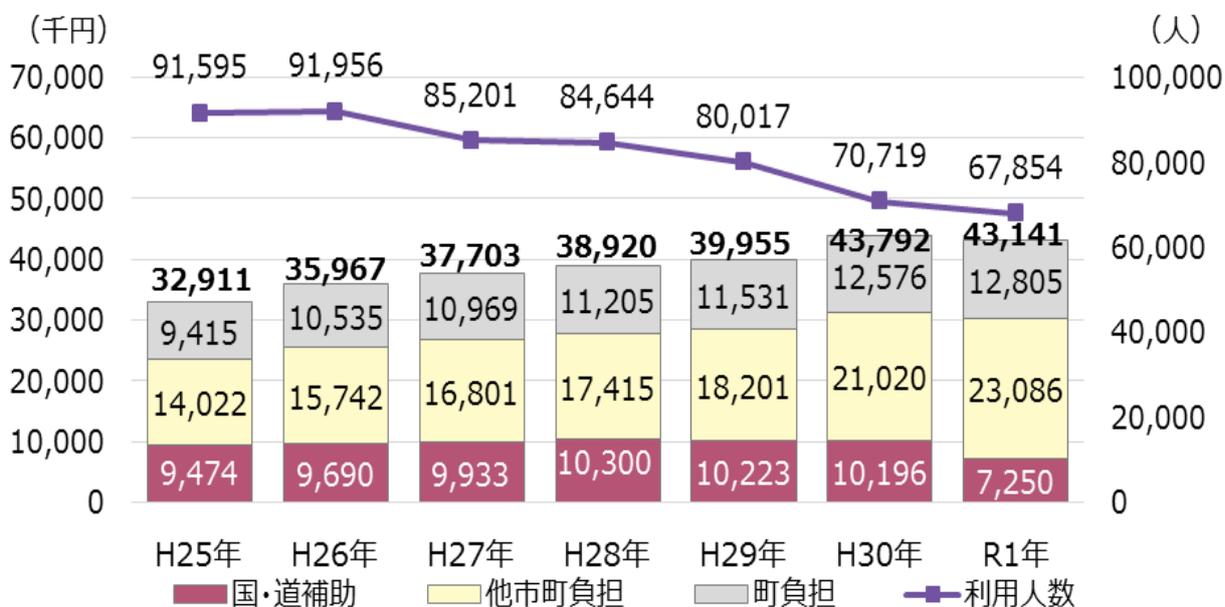


現状

冬期間の道路交通の確保は、日常生活や社会活動を維持するため、極めて重要な施策です。しかし、町民の高齢化に伴い置き雪処理などの苦情要望が増えており、また、排雪回数や歩道除雪の充実を求める要望も増えています。

公共交通の確保は、人口減少から利用者が減少しているため、路線バスの運行が厳しい状況にあることから、路線撤退の申出を受けています。

【路線バスの年間市町村負担額等の推移】



(資料：新十津川町公共交通計画)

課題

- 町民の高齢化に伴う除雪の要望にこたえるため、助成支援の検討が必要です。一方で除雪機械の運転手が高齢化していることから、最新の技術を導入し、安定した除雪体制を維持する必要があります。
- 北海道中央バス（株）からバスの利用者の減少、運転手の人材不足により町内路線の撤退の申出があり、令和4年度から新たな公共交通が始まります。今後も利用者の動向、町民が利用しやすく継続して運行できる、より良い交通体系を検討していかなければなりません。



展開方針

除排雪事業は、福祉サービスとの連携、町民との協力体制を築き、除雪機械の増強や最新の情報通信技術（ICT）などを活用し、安心して冬の生活が送れるよう整備を進めます。また、地域公共交通は、スクールバスの混乗を含めた新たな手法により、町民に利用しやすい公共交通を運用します。

実施する施策

- ①除排雪の充実
- ②新地域公共交通の確立



町道の排雪作業



スクールバス



実施する施策の内容

①除排雪の充実

除排雪事業に関する町民の協力体制を構築するとともに、人口構成や住宅環境の変化に応じた継続可能な除排雪業務体制を整え、適切な除排雪を実施します。

【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> ● 宅内の雪を道路に出さない。 ● 住宅間口の除雪に協力する。 ● 地域での助け合いを心がける。 ● 悪天候が予想される場合または悪天候時は外出を控える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な除排雪体制を確立する。 ● 適切な町道の除排雪を行う。 ● 国道、道道の適切な除排雪の実施を要請する。 ● 除雪の協力とマナーの啓発を行う。 ● 悪天候時の除雪状況を周知する。 ● 高齢者等の除雪支援を行う。

【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
町民アンケートの除排雪に係る満足度（ポイント）	59.1P	65.0P	65.0P	65.0P	65.0P	65.0P

町民アンケートによる満足度が、除排雪の充実を示す指標に適していることから、除排雪に係る町民アンケートの満足度とします。



町道の除雪作業



実施する施策の内容

②新地域公共交通の確立

町民・事業者・行政の連携、支援により、町民の日常生活に必要な移動手段を確保します。

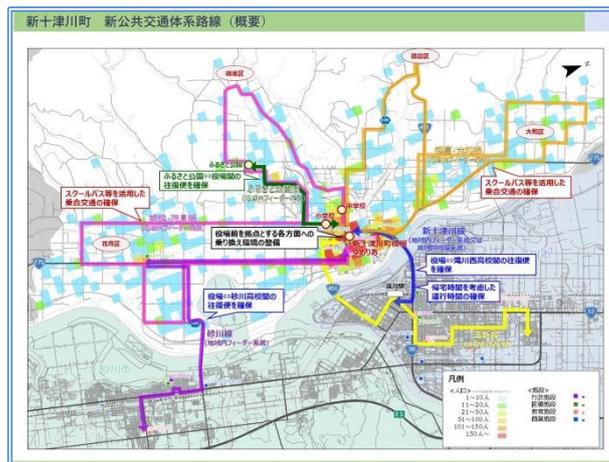
【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通機関を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通サービスを確保する。 ●効率的な運行方法を検討する。

【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
平日の公共交通利用者数（人/日）	290人	295人	300人	305人	310人	315人

今後も更なる人口減少が予想されますが、効率的な公共交通再編により利便性を高め、利用者数を向上させることを目標とするため、平日の公共交通利用者数とします。



新十津川町地域公共交通計画



政策3 **交通環境の充実**

【主要な取組事項】

- 除排雪体制の整備
- 高齢者に配慮した適切な除排雪の実施
- 国道、道道の排雪の要請
- 町民への除雪協力やマナーの周知
- 行政区と連携し地域除雪活動を支援
- 高齢者等への除雪支援
- 新公共交通体系の導入と見直し
- 公共交通の効率的な運行体制の見直し



高齢者世帯への除雪支援

